

千葉県スクエアダンス連絡協議会  
中部ブロック コーラー研修会資料

「SDCouple と SDReader の活用方法」

2024年1月20日（土）

さくらスクエアーズ 小倉正雄

## SDCouple と SDReader の活用について

SD 用のソフトとしては、音楽再生の SQView、コレオの作成支援の SDCouple、SDCouple で作成したコレオを分類して活用する SDReader があります。

パソコンにソフトをインストールすれば各ソフトを動かすことはできますが、インストールだけではコレオを作成して保管することはできませんが、分類・活用することはできません。



コレオを作成し、分類・活用するにはどうすればいいのでしょうか。パソコンのソフトは便利なツールではありますが、あくまでツールであり、なんでも自動でやってくれるわけではありません。

パソコンはあくまでも手作業で行う作業を正確に高速で行ってくれるツールなので、手作業でコレオを作成し、分類・活用する方法を考えます。

手作業でコレオを作成するには、コマ等を使用して体系や配置を確認しながら GetOut までの一連のコレオを作成して紙に記録します。

また、既定の配置(パートナーラインやコーナーライン)からの GetOut モジュールを作成して活用する方法もあります。いずれの場合もコマを動かしながら使用したムーブメントを記録し、コレオを作成しますが、記録したコレオを再利用する際には作成したコレオを見直してレベルや難易度を確認する必要があります。

このような方法で作成したコレオをノートに書き溜めて使用することを考えます。この場合、一冊のノートに作成した全てのレベル(MS, Plus, AD, C1 等)のコレオを書き溜めていった場合、Plus の初心者用のコレオを活用しようとする、このノートから必要なコレオを探して、別のノートやメモに書き写す必要があります。当然書き間違いのチェックやレベルの確認等大変な手間がかかります。

手作業で作成したコレオを分類して活用する方法としては、1枚のカードに1コレオを記入し、カードに分類項目としてレベル(MS, Plus, AD, C1 等)や難易度を見出しに記入し、カードをレベル・分類項目で集計して区分けして保管するという方法があります。このように分類されていればレベルや難易度別に取り出して活用することが可能となります。

毎回同じコレオを使用しないように使用したコレオのカードに使用した日時と場所を記入して元のケースに戻しておけば同じコレオばかり使用することは避けられます。

これらの作業を早く正確に行うためのソフトが SDCouple と SDReader です。SDCouple でのコレオ作成時にレベルを選択し、選択したレベルのコレオを作成する手助けをしてくれます。

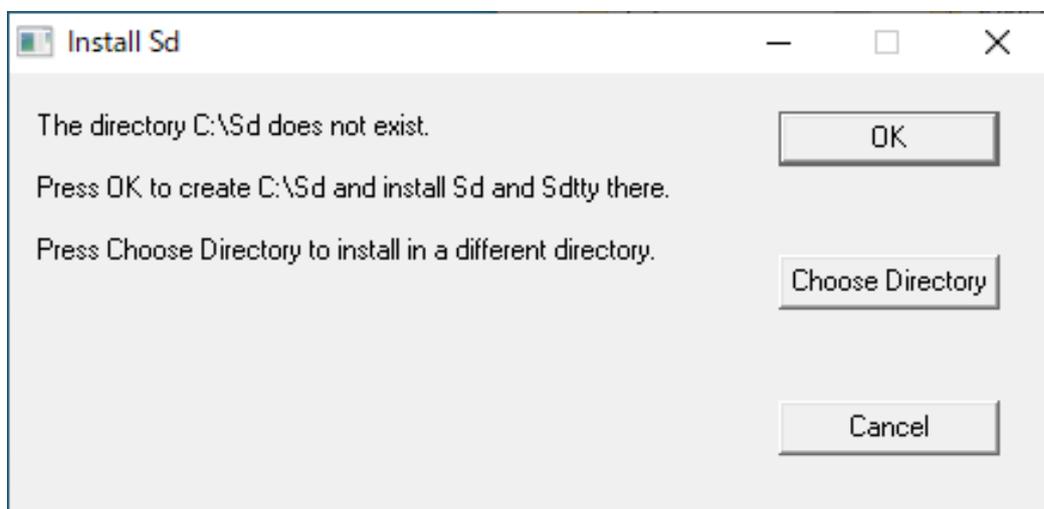
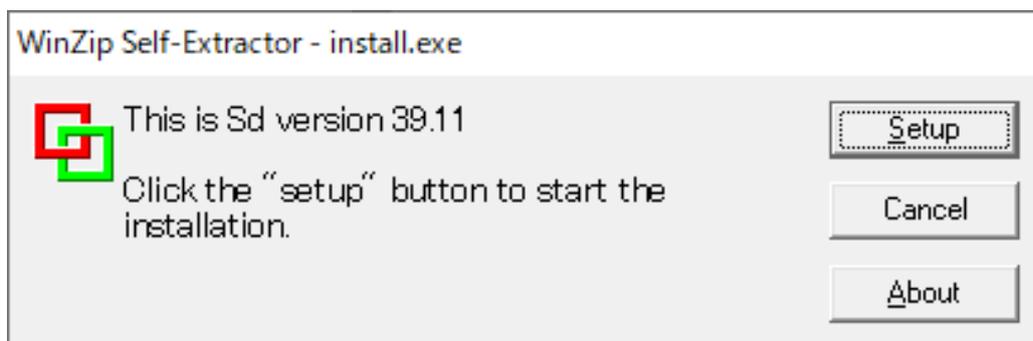
作成したコレオにはタイトルを付けて保管しますが、タイトルにレベル以外の分類に必要な項目を入れておけば後の整理が楽になります。

SDCouple のインストール手順

以下のサイトから SDReader をインストールする「install.exe」をダウンロードします。

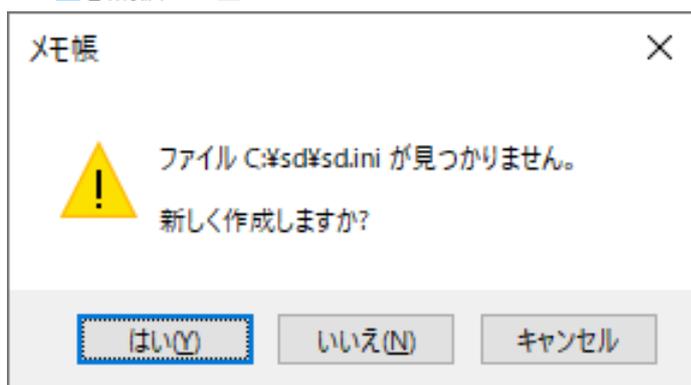
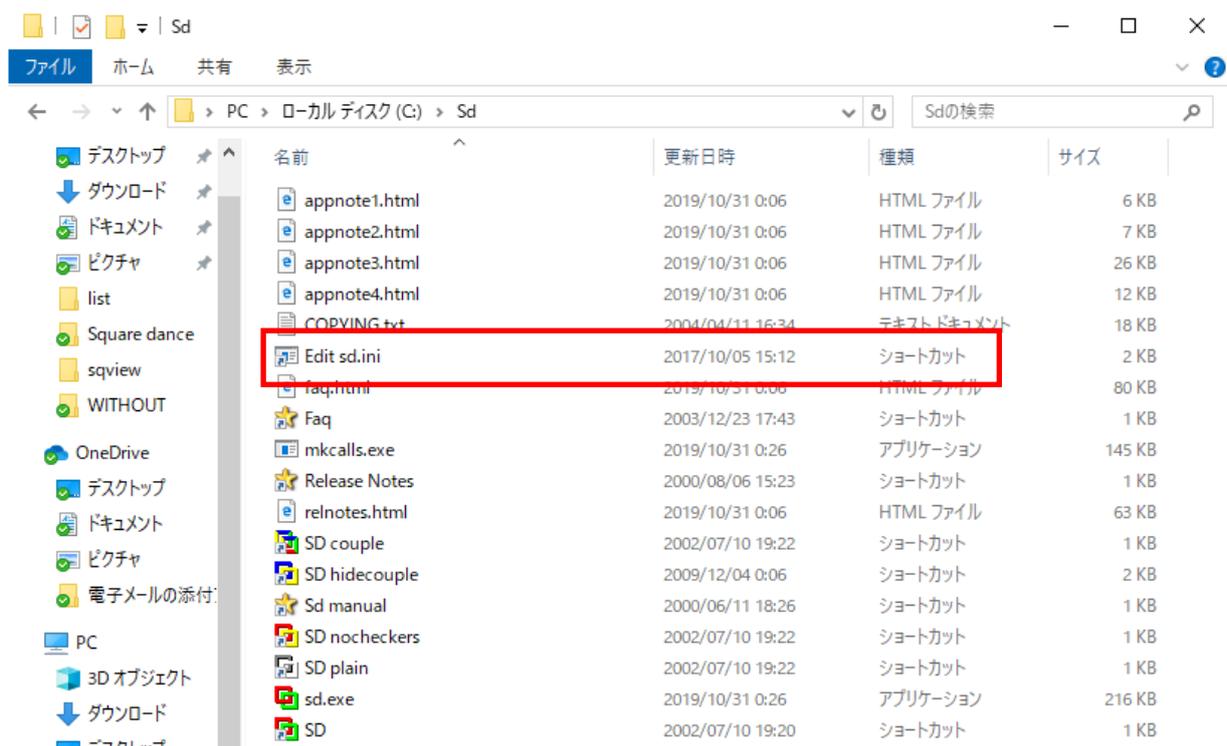
<http://www.lynette.org/sd/index.html>

ダウンロードした「install.exe」を実行してインストールを実行します。



※注意:SDCouple はコーラーラブのリストや定義の改定によって頻繁に更新されています。  
サイトを確認して常に最新のバージョンを使用するように更新してください。

## SD.INI の作成と編集



SDCouple の使用方法に慣れるには、とにかくコレオの作成、保存を数多く実行することです。

初期に作成するコレオは練習用として簡単なコレオを作成します。

保存する際に入力するコメントには「test1～testxxx」等の文字を入力しておけば後で削除する際の目安になります。

以下に示す SD.INI のサンプルは私の使用している SD.INI で、SDCouple 初心者の時から使用しているものです。[Sessions]の部分は実験的に作成したのですが、私の使い方では不要だったので、消さずにそのままになっていました。(この後で削除しました。)

## SD.INI のサンプル

### [Options]

```
new_style_filename
keep_all_pictures      ①
maximize
single_click
```

### [Sessions]

```
+          C1          1      Sample
sequence_MS.txt  Mainstream  1
```

# "Enhanced" accelerator keys can be plain, shifted, control, alt, or control-alt.

```
# e1 = page up
# e2 = page down
# e3 = end
# e4 = home
# e5 = left arrow
# e6 = up arrow
# e7 = right arrow
# e8 = down arrow
# e13 = insert
# e14 = delete      ③
```

### [Accelerators]

```
cu      deleteline
cx      deleteword
e6      lineup
e8      linedown
e1      pageup
e2      pagedown
+f1     heads start
+sf1    sides start
+cf1    just as they are
+f2     heads 1p2p
+sf2    sides 1p2p
f2      two calls in succession
sf2     twice
f3      pick random call
sf3     pick concept call
cf3     pick simple call
f4      resolve
e4      resolve
sf4     reconcile
cf4     normalize      ④
```

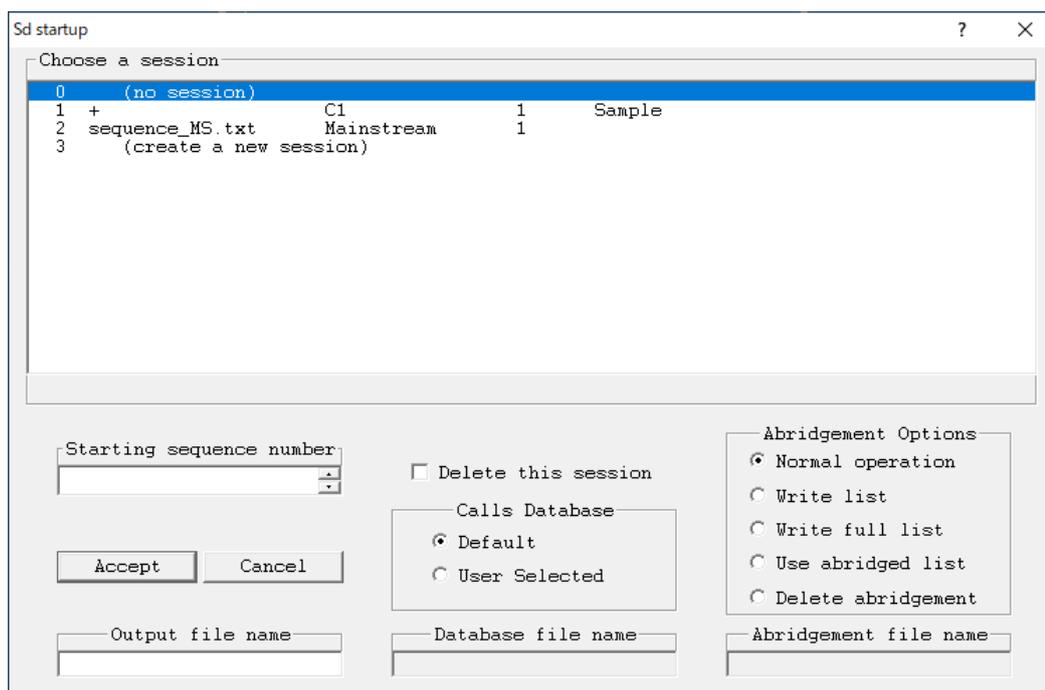
```
f5      refresh display
sf5     keep picture
cf5     insert a comment
e13     insert a comment
f6      simple modifications
sf6     allow modifications
cf6     centers
f7      toggle concept levels
+f7     toggle concept levels
sf7     toggle active phantoms
+sf7    toggle active phantoms
f8      quoteanything
sf8     cut to clipboard
cf8     paste one call
f9      undo last call
+f9     exit from the program
*f9     abort the search
sf9     undo last call
+sf9    exit from the program
*sf9    abort the search
f10     write this sequence
*f10    write this sequence
*e3     write this sequence
sf10    change output file
+sf10   change output file
f11     pick level call
sf11    pick 8 person level call
cf11    standardize
*f12    find another
*sf12   accept current choice
*cf12   previous
*af12   next
*se6    raise reconcile point
*e5     previous
*e7     find another
*se8    lower reconcile point
```

### [Abbreviations]

```
u      U-turn back
rlt    right and left thru
spe    spin chain and exchange the gears
spg    spin chain the gears
spt    spin the top
spc    spin chain thru
scw    single circle to a wave      ⑤
```

① オプション ② セッション【起動時にセッション選択ウィンドウが開くようになる。セッション選択ウィンドウが不要なら削除。】 ③ 特殊キーの説明 ④ ショートカットキー【c:Ctrl s:Shift a:Alt ca:Ctrl-Alt +:シーケンス開始時のみ \*:検索中のみ】 ⑤ 略語【略語(空白含まない)とコマンドを空白またはタブで区切る】

セッション選択画面 (SD.INI の[Sessions]が無い場合はこの画面はスキップされる。)

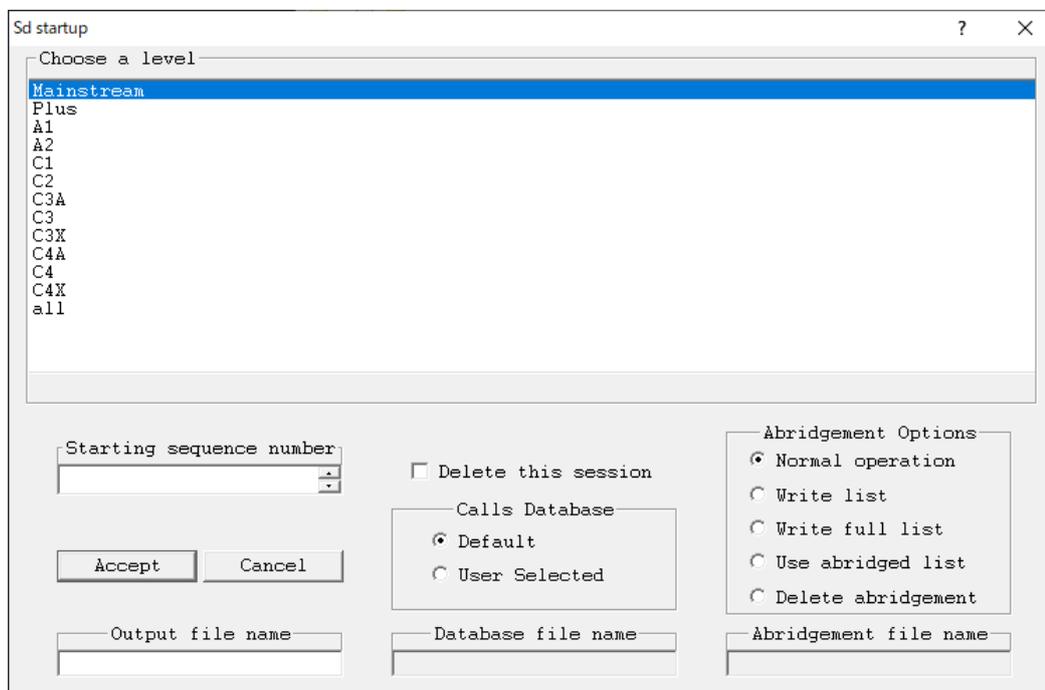


[Sessions]

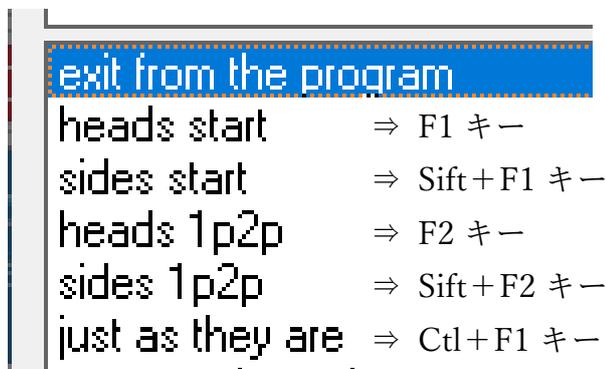
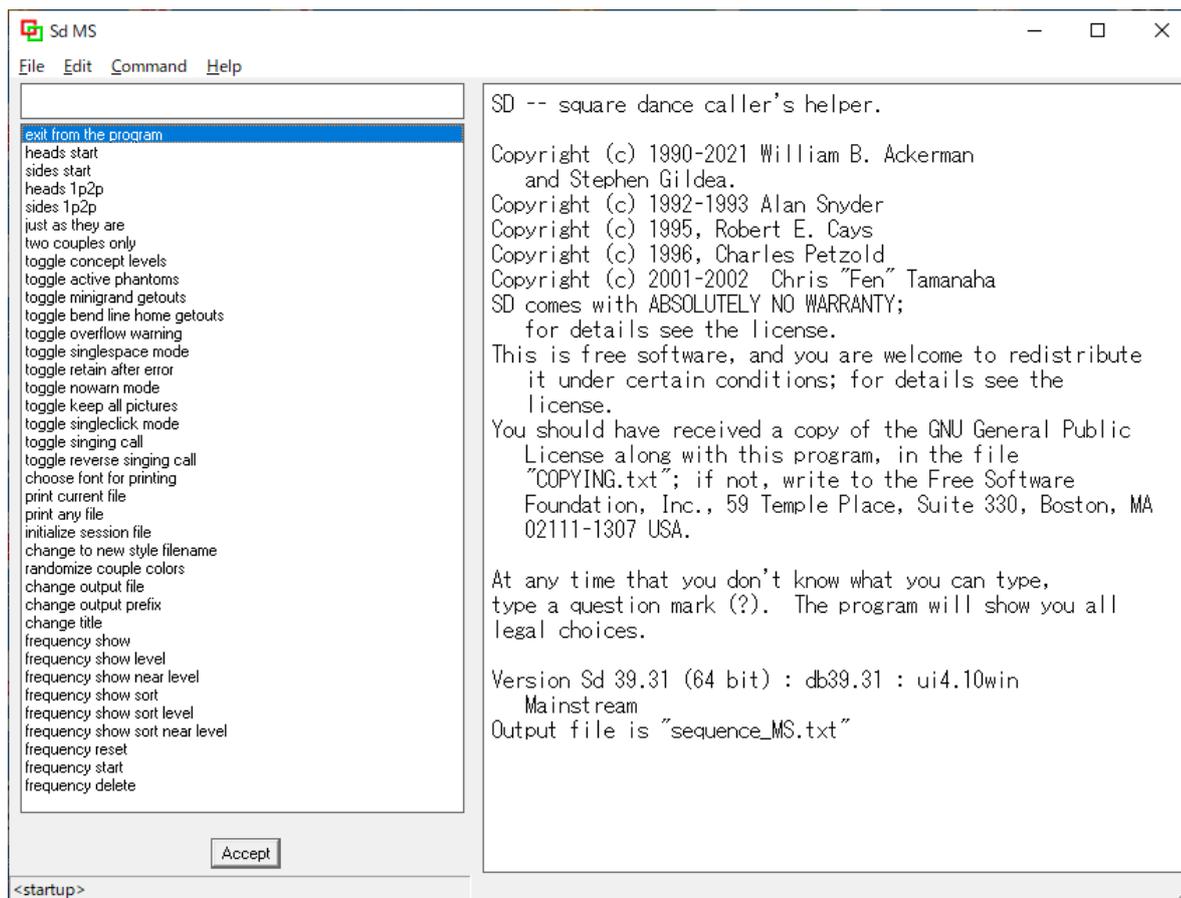
```

+           C1           1      Sample
sequence_MS.txt  Mainstream  1
  
```

ダンスレベル選択画面 (作成するコレオのダンスレベルを選択する)



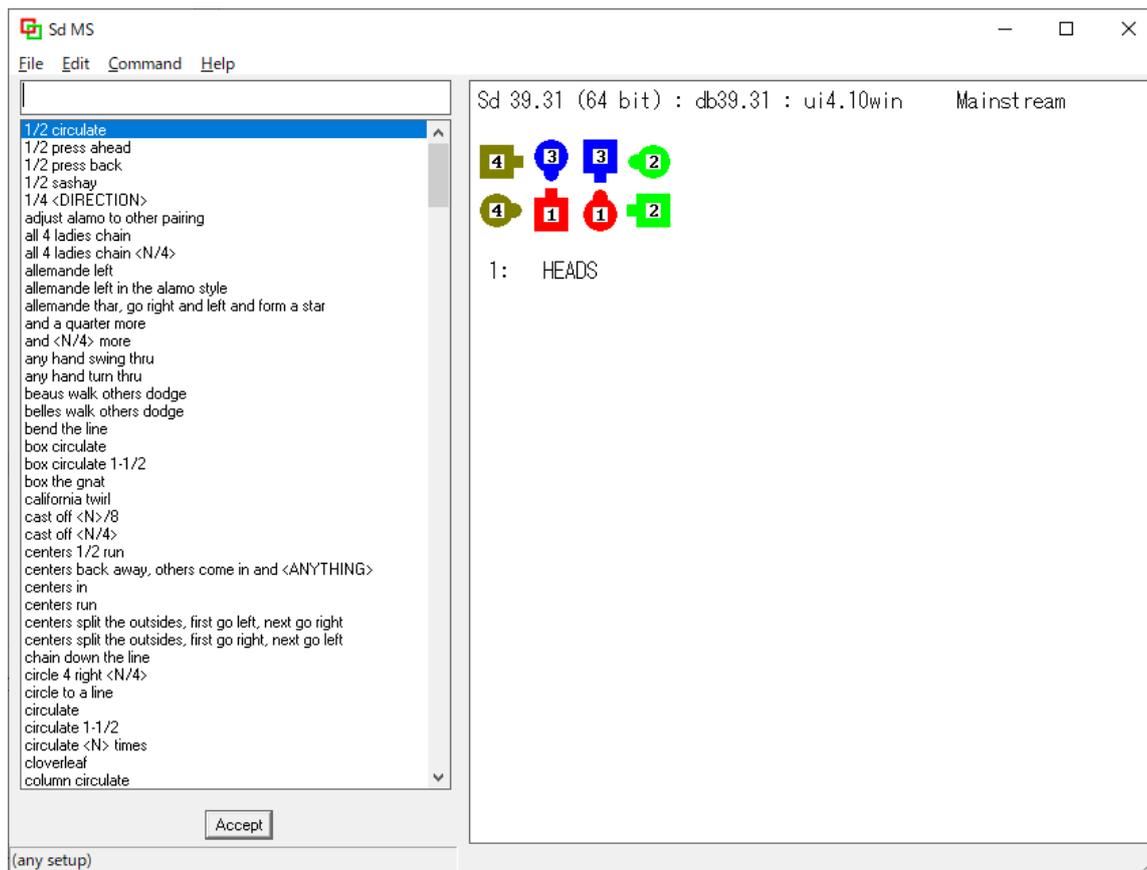
オプション選択画面(固定で使用するものは SD.INI のオプションに入れておく。)



SD.INI の[Accelerators](ショートカット)で定期したキーに割り当てられている。

- +f1 heads start
- +sf1 sides start
- +cf1 just as they are
- +f2 heads 1p2p
- +sf2 sides 1p2p

上記の画面から F1 キーを押した heads start の画面を下図に示す。



上の画面にコールを入力してコレオを組み立てて行きます。

特にダンサーの指定時の複数形に注意して入力する必要があります。

例:center → centers, end → ends, boy → boys, girl → girls

対象のダンサーが一人の場合は単数形で指定する。

例:#1 girl run (1組の女性は一人しか存在しないため)

#### コールの入力方法

- ① キーボードで入力する。(キー入力が早い人はお薦め、入力速度が速くなる)
- ② キーボードとマウスの併用(複雑なコールの入力に有効、マウスのみよりは早い)
- ③ 左側のリストからマウスでコールを選択(コールを探すのに苦勞する)

キー入力の場合、略語を登録することで少ないキーでコールの入力が可能となります。

以下は私が使用している略語です。

#### [Abbreviations]

u U-turn back  
rlt right and left thru  
spe spin chain and exchange the gears  
spg spin chain the gears  
spt spin the top  
spc spin chain thru  
scw single circle to a wave

⑥

## SDCouple で作成したコレオの分類について

作成したコレオの分類については個人の使用方法によると思いますが、参考として私の分類をご紹介します。

実際にコールを行う状況を考えてダンサーの経験年数やレベルによる分類が必要となります。レベルについては SDCouple の作成時に MS、Plus、A1、A2、C1～C4X と 12 段階での区分けがなされています。実際にコールする際のレベルはあらかじめ決められています。しかし、難易度はプログラムで Easy、Hard、DBD 等の他にダンサーのレベルも考慮する必要があります。

私がこれから使用する分類としては、

分類用 各難易度に分ける前の取り込み用

Easy スタンダードアプリケーションの Easy レベルのコレオ

SA スタンダードアプリケーションのコレオ

Hard スタンダードアプリケーション以外の動作を使用するコレオ

DBD\_E DBD の簡単なコレオ

DBD\_H DBD のコレオ

Singing シンギングのコレオ

Rotate ローテーションのコレオ

Fun 特殊なコレオ(パートナーと手を取ったら Trade 等)

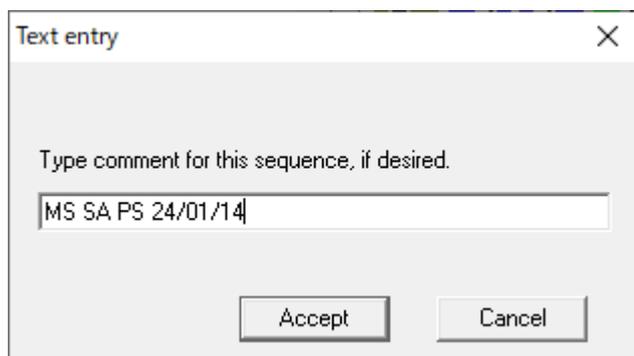
アンシンメトリック\_easy

アンシンメトリック\_hard

これらのコレオを heads start と heads 1p2p からの GetOut に分類する予定です。

これらの分類を行う為には、SDCouple でコレオを作成し、保管する際に入力するコメントに、作成したコレオの分類項目を入力しておく必要があります。(heads start は SS、heads 1p2p は PS と表記)

私はコメントにレベル、難易度、スタート体形、作成日を入力する予定です。



2024 年 1 月 14 日に作成したメインストリームのスタンダードアプリケーションで 1P2P ラインからのゲットアウト

SDCouple の機能については、相模原スクエアダンスクラブHP (<http://www8.plala.or.jp/ecapelmos/>)の「リンク」にある SD couple 機能索引が詳しく解説されていますので参照することをお勧めします。

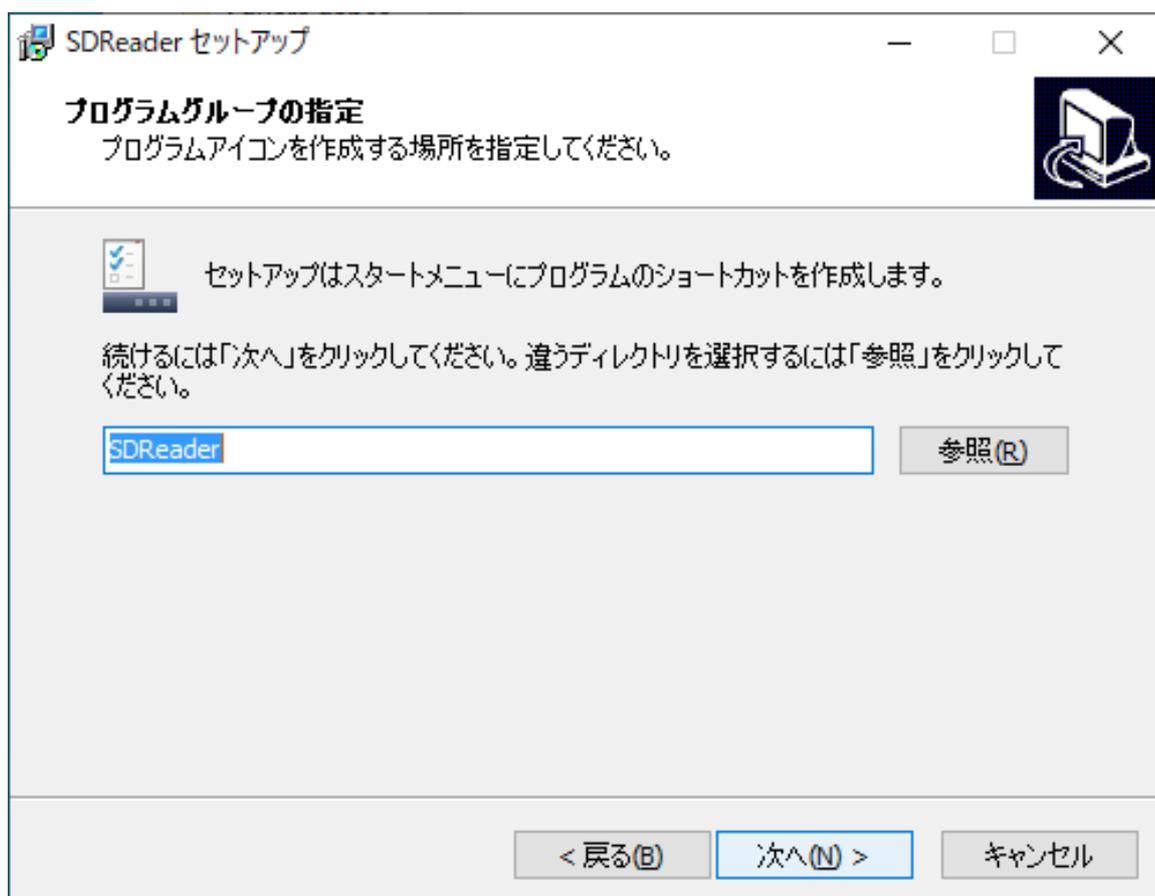
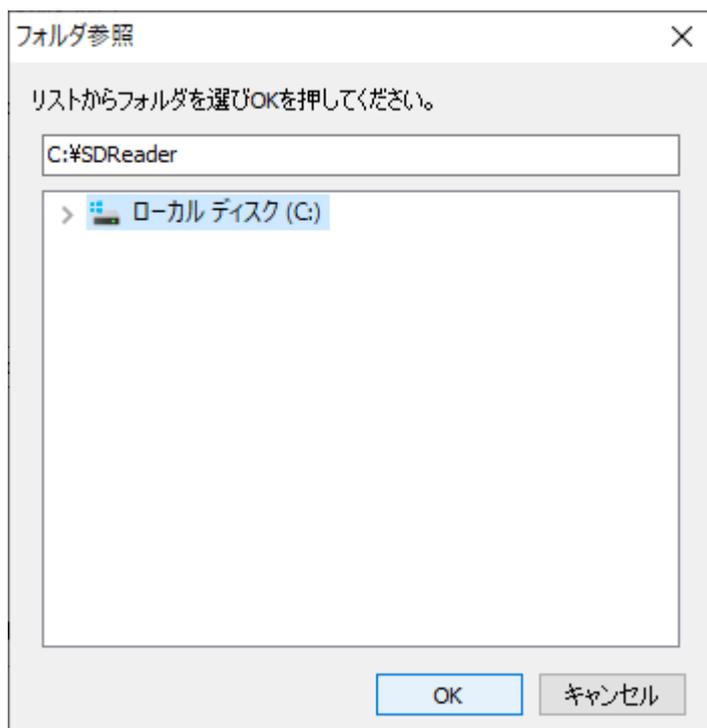
## SDReader のインストール

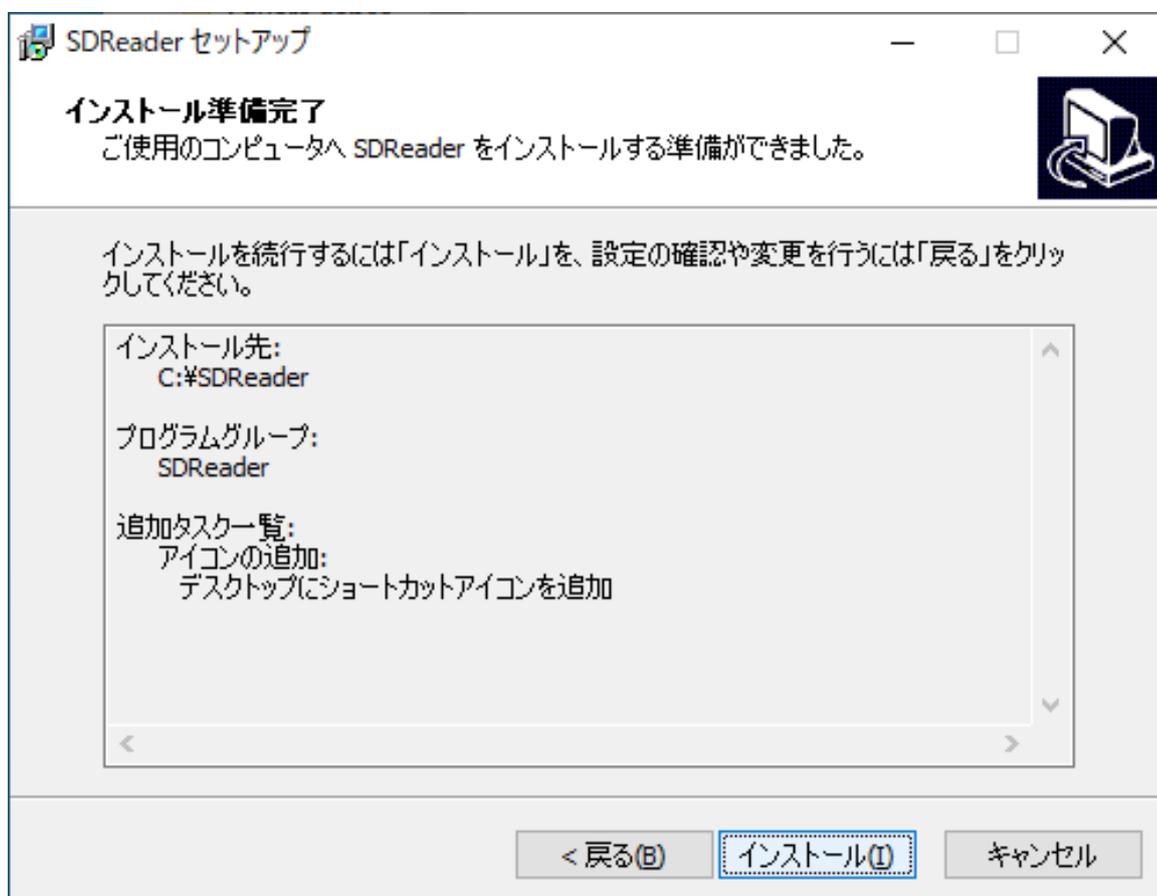
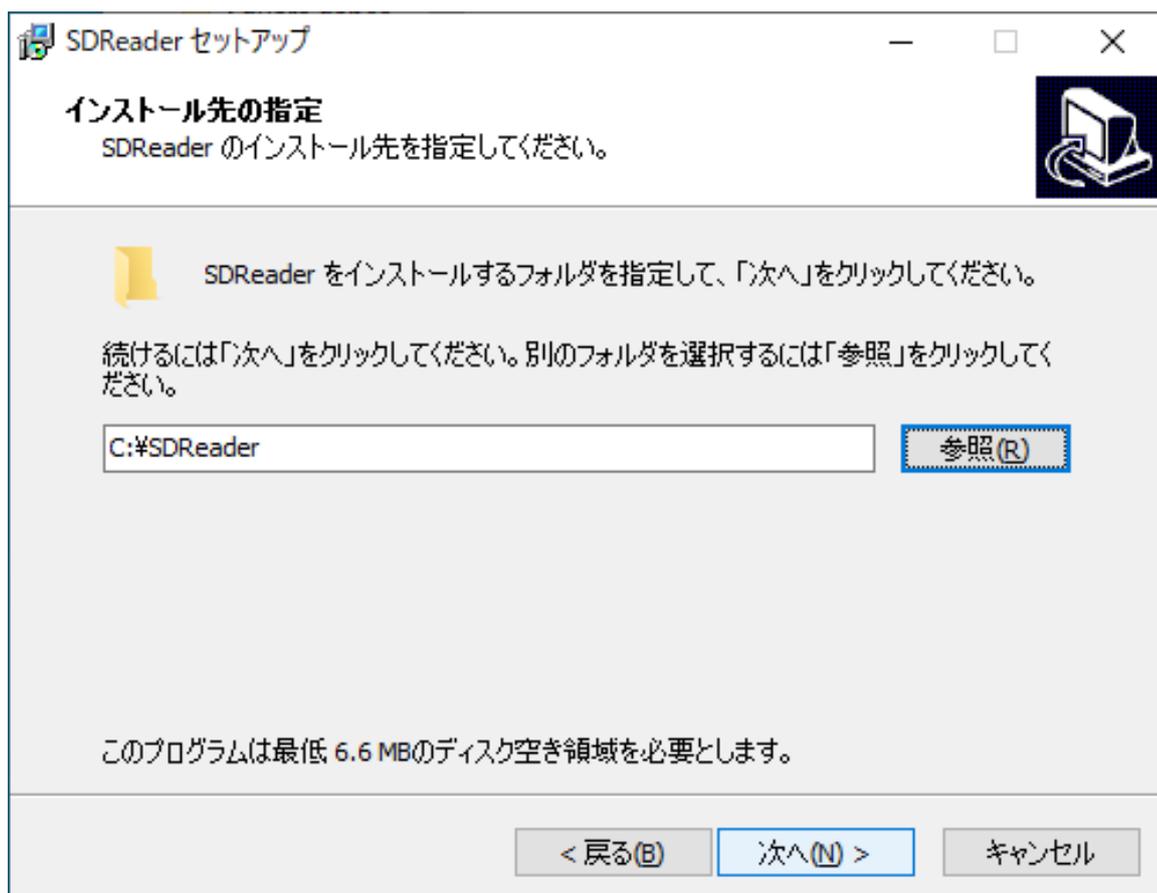
以下のサイトから SDReader のインストールプログラム「SDReaderSetup.exe」ver2.24.3（日本語インストーラ付き）をダウンロードします。

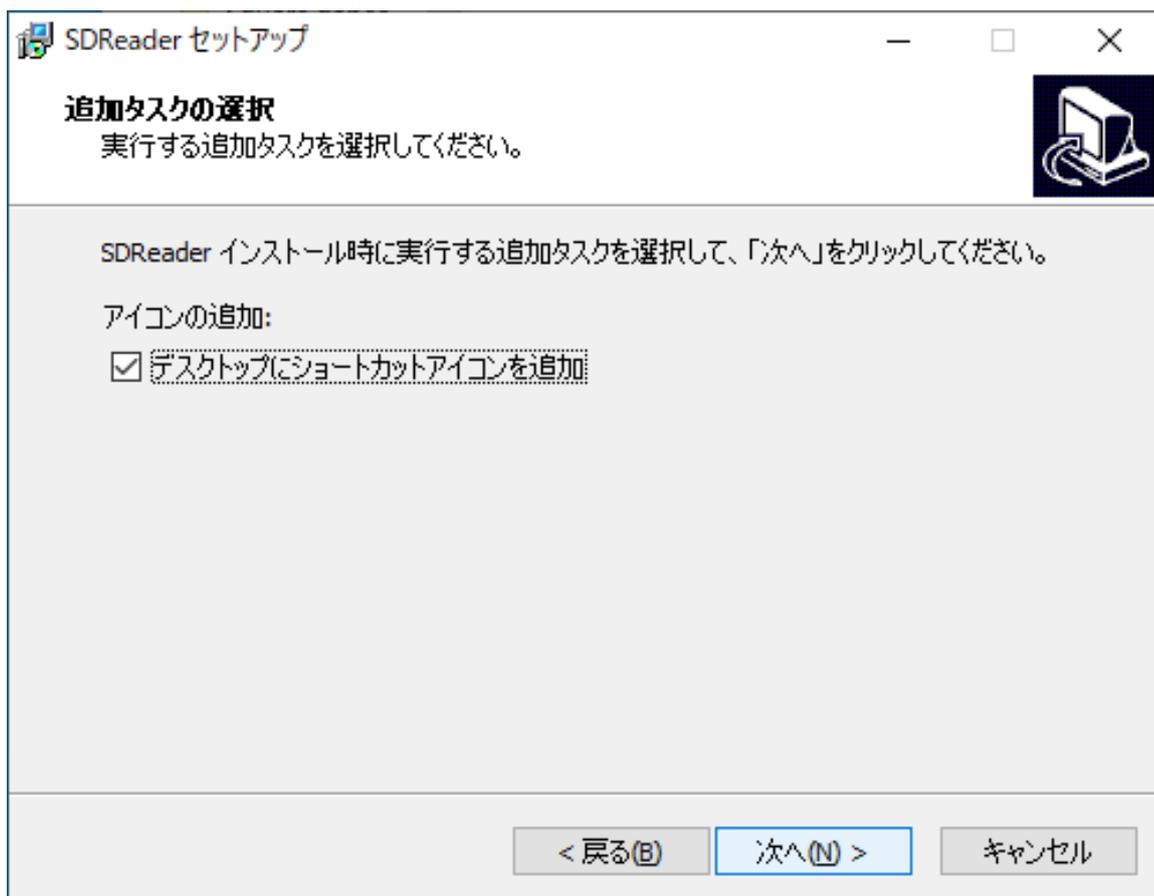
<http://www.kvision.ne.jp/~sdreader/>

ダウンロードした「SDReaderSetup.exe」を実行します。

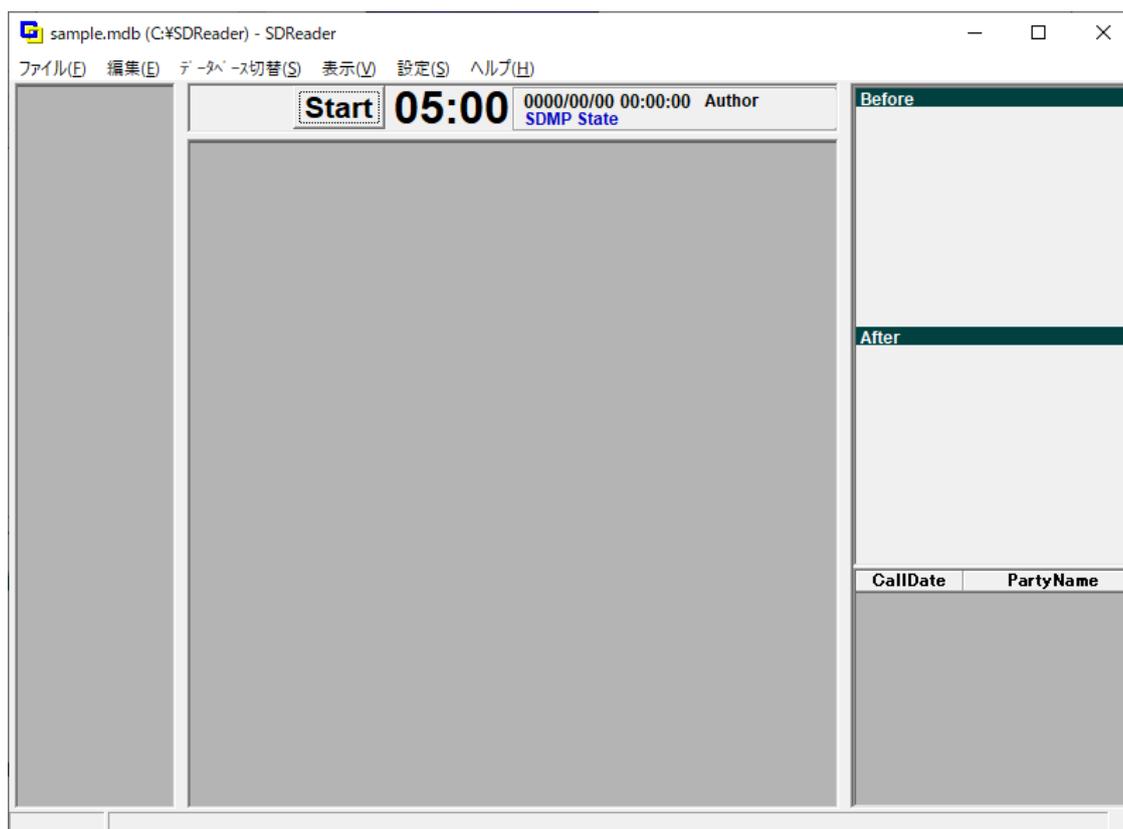




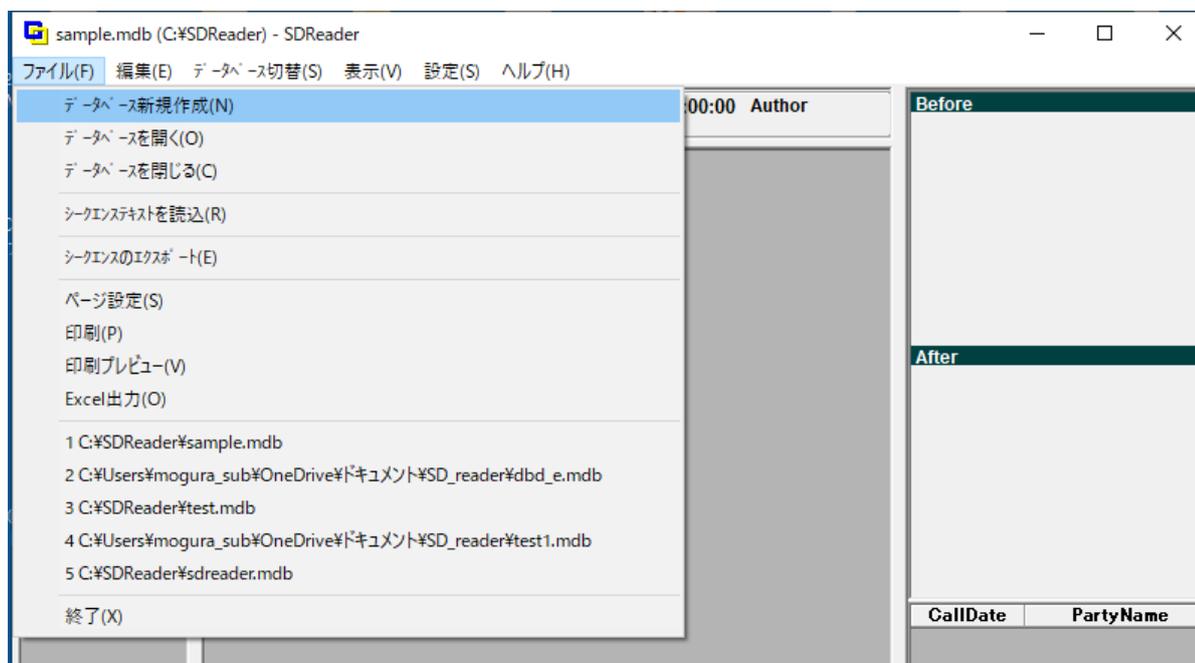




## SDReader の初期画面の例



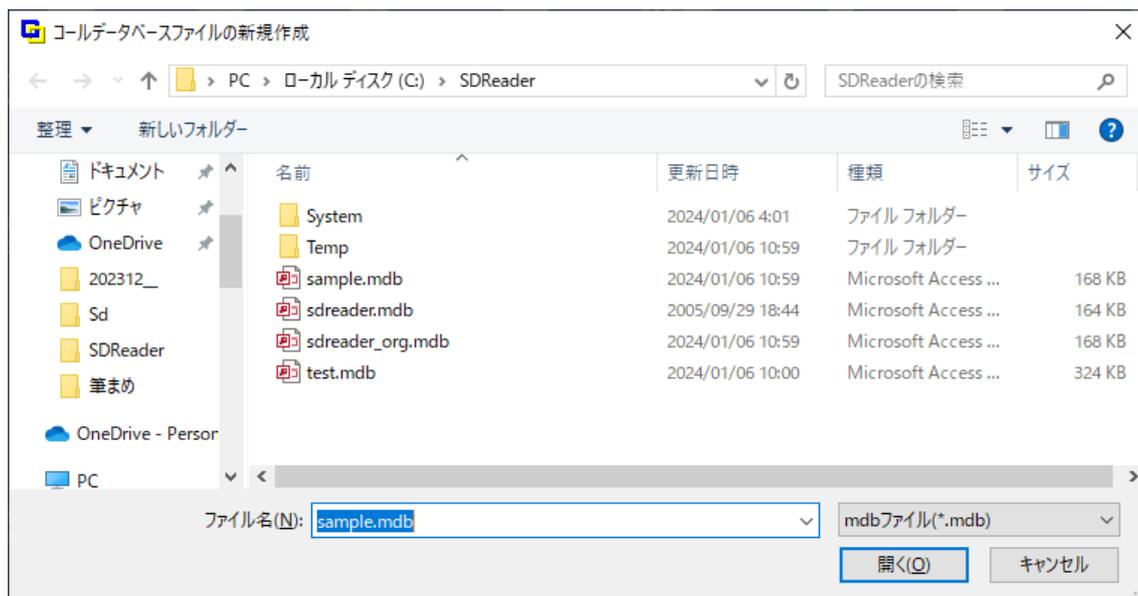
SDCouple で作成したコレオを SDReader で分類・管理する方法  
分類する項目別にデータベースの新規作成を行う。



作成するファイル名は分類項目が分るようなファイル名が好ましい。

SDReader、Easy、SA、Hard、DBD\_E、DBD\_H、Singing、Rotate、Fun、AS\_E、AS\_H 等

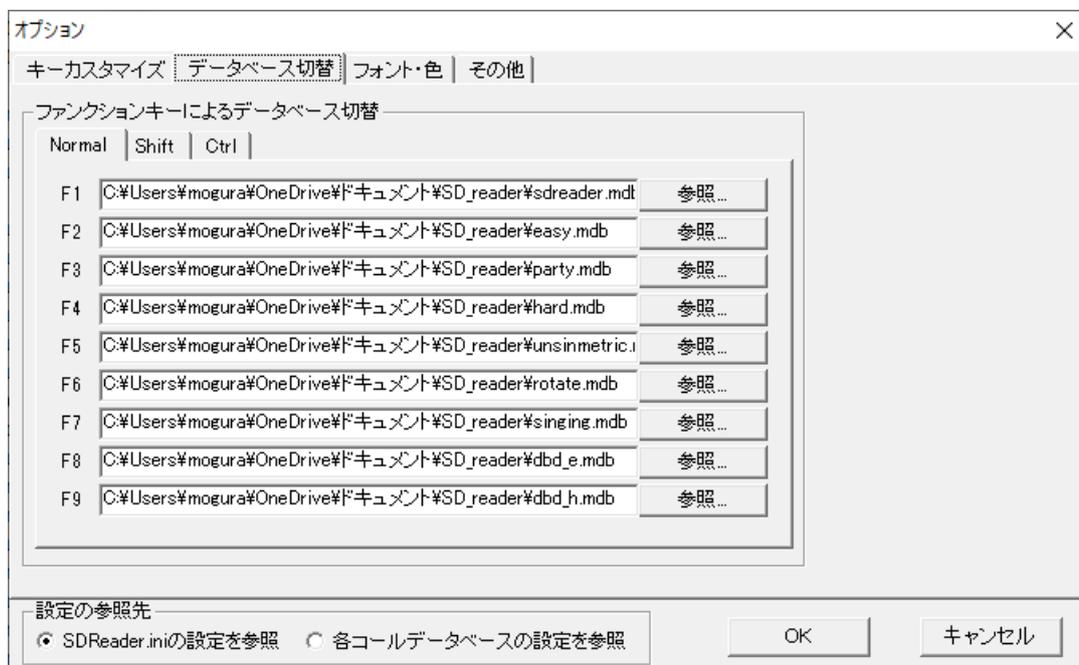
## ファイル名を指定するウィンドウ



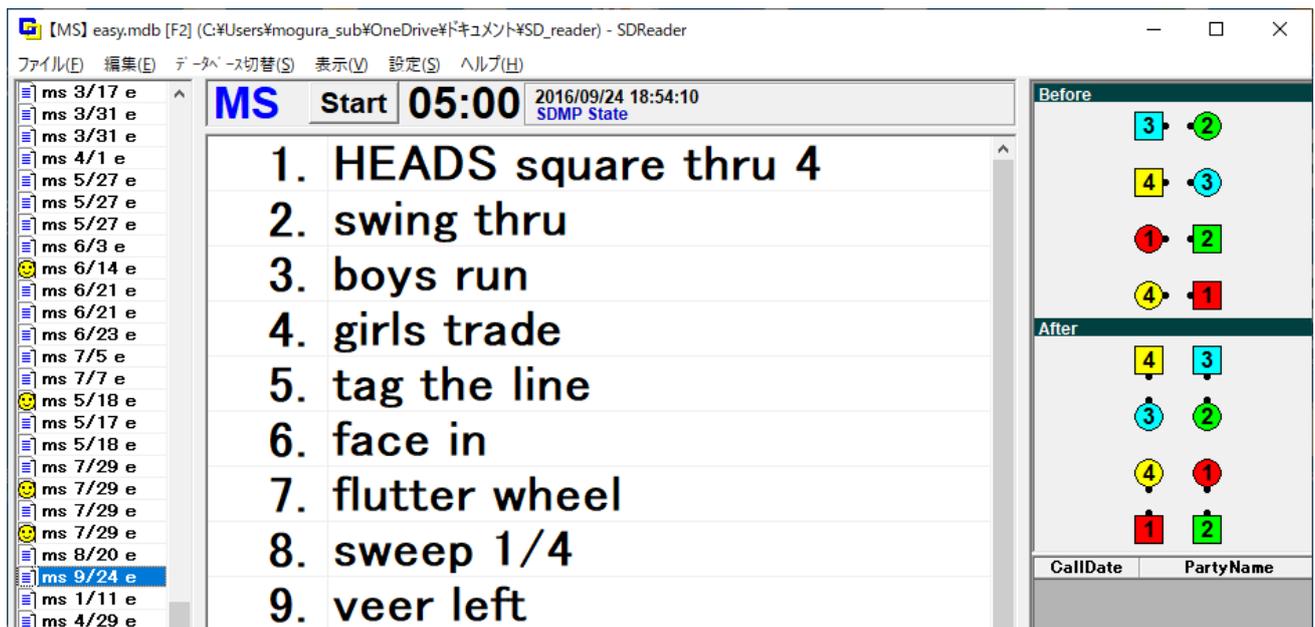
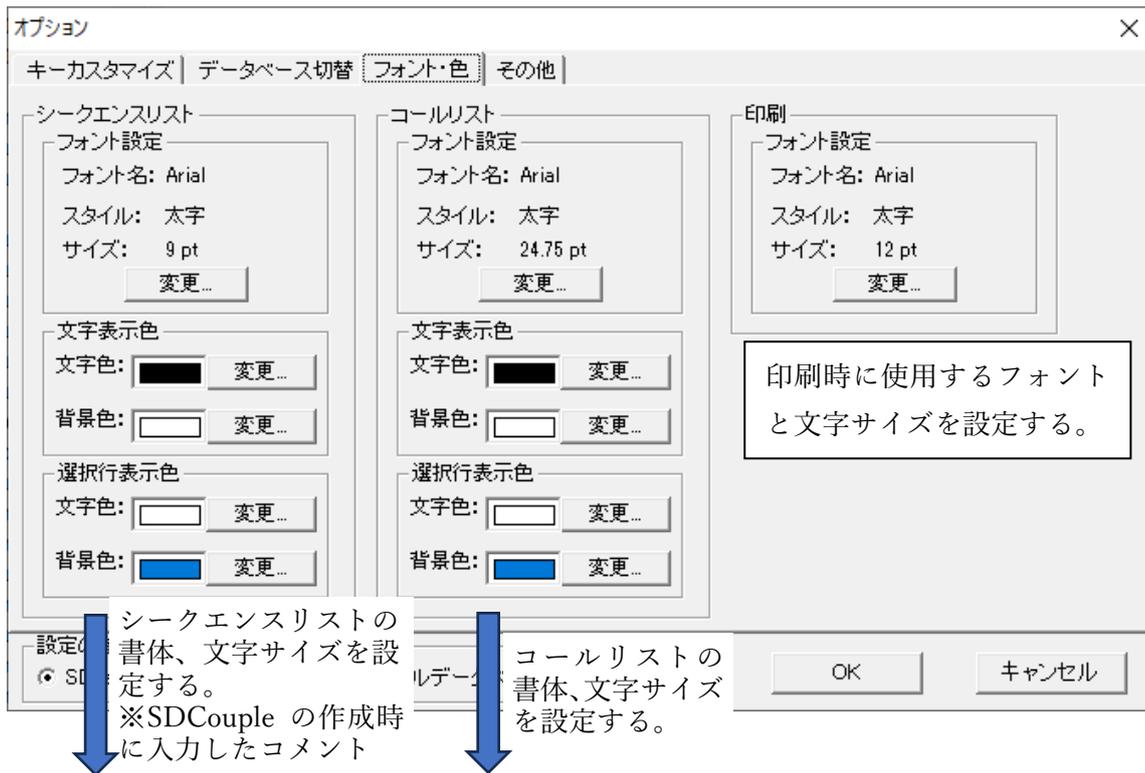
作成したファイルをファンクション・キーに割り当てる

作成したファイルの切替を毎回「ファイル⇒データベースを開く」からファイルを探して開くのは手間がかかるので、「設定⇒オプション」からデータベース切替のタブで任意のファンクション・キーに割り当てるとファンクション・キーだけで、データベースの切替ができるようになります。

ファンクション・キーは Normal、Shift、Ctrl に各9個のファンクション・キーが登録可能なので、最大 27 個のファイルをファンクション・キーに登録できます。



オプションで設定する項目「オプション⇒フォント・色」



文字サイズや書体は自分が見やすいと思う書体・文字サイズを設定する。書体文字サイズはいつでも変更可能なので、とりあえずで設定して後で修正するようにする。

オプションで設定する項目「オプション⇒その他」

オプション

キーカスタマイズ | データベース切替 | フォント・色 | **その他**

コール履歴  
日付: 2024/01/06  
パーティー・例会名:

チップタイマー  
1チップ(分): 5  
 カウントダウンタイマー  
 カウントアップタイマー

印刷  
著作者:  
 Noteの印刷  
 隊形の印刷

シーケンスの並べ替え  
 日付順で並べ替え  
 ユーザーによる並べ替えを保存  
 状態順で並べ替え

コールリスト  
コールリスト行間  
マージン(ピクセル): 0

部分書式  
 部分書式なし  
 部分書式あり

読込ファイル別名保存  
 読み込んだシーケンステキストに  
日付を付けて別名保存

設定の参照先  
 SDReader.iniの設定を参照  各コールデータベースの設定を参照

OK キャンセル



チップタイマーは設定した時間を超えると時間表示が赤字に変化する。

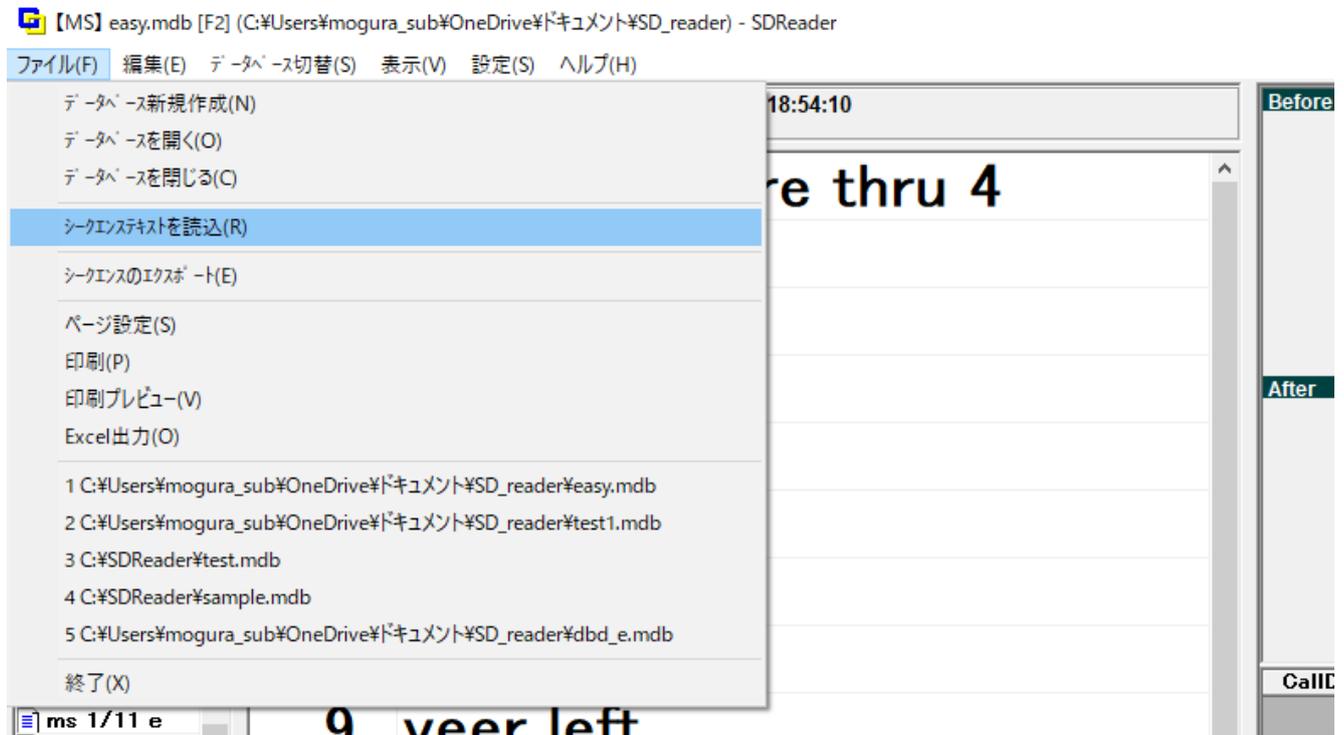
カウントダウン・カウントアップはオプションで設定します。

赤の楕円で囲んだ部分はこの設定にしておいてください。

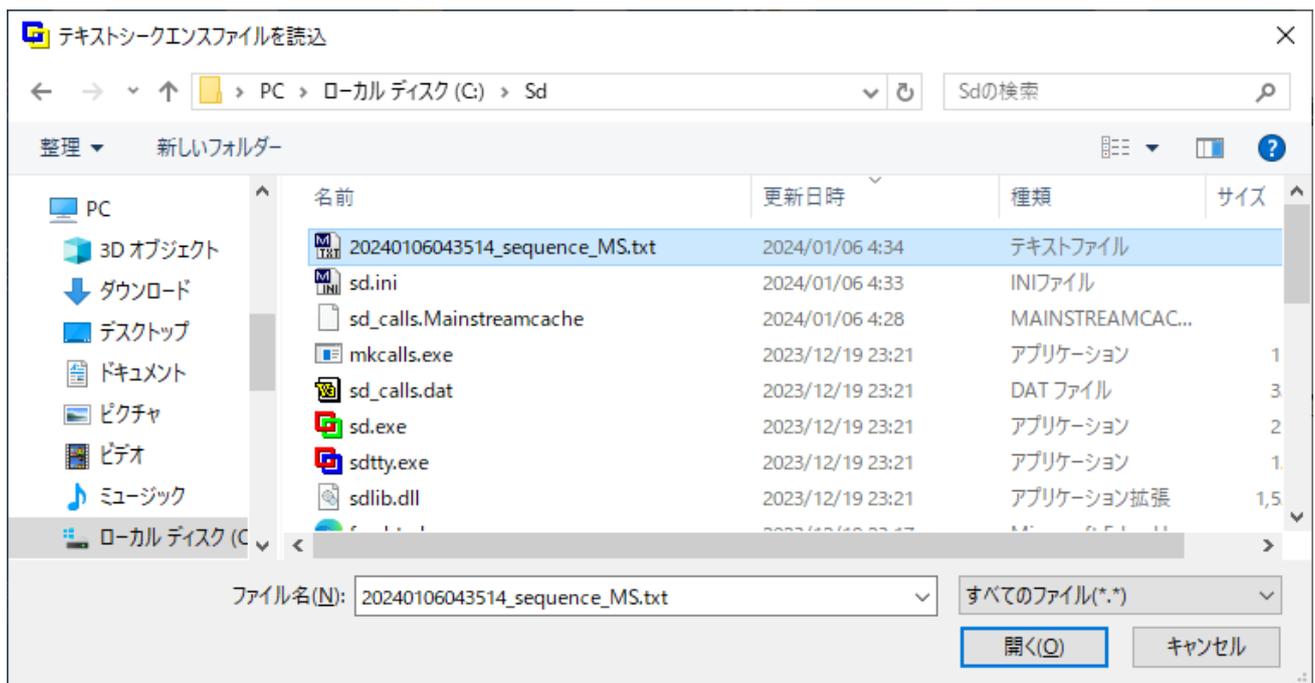
## SDCouple で作成したコレオを SDReader に取り込む方法

SDReader でースを

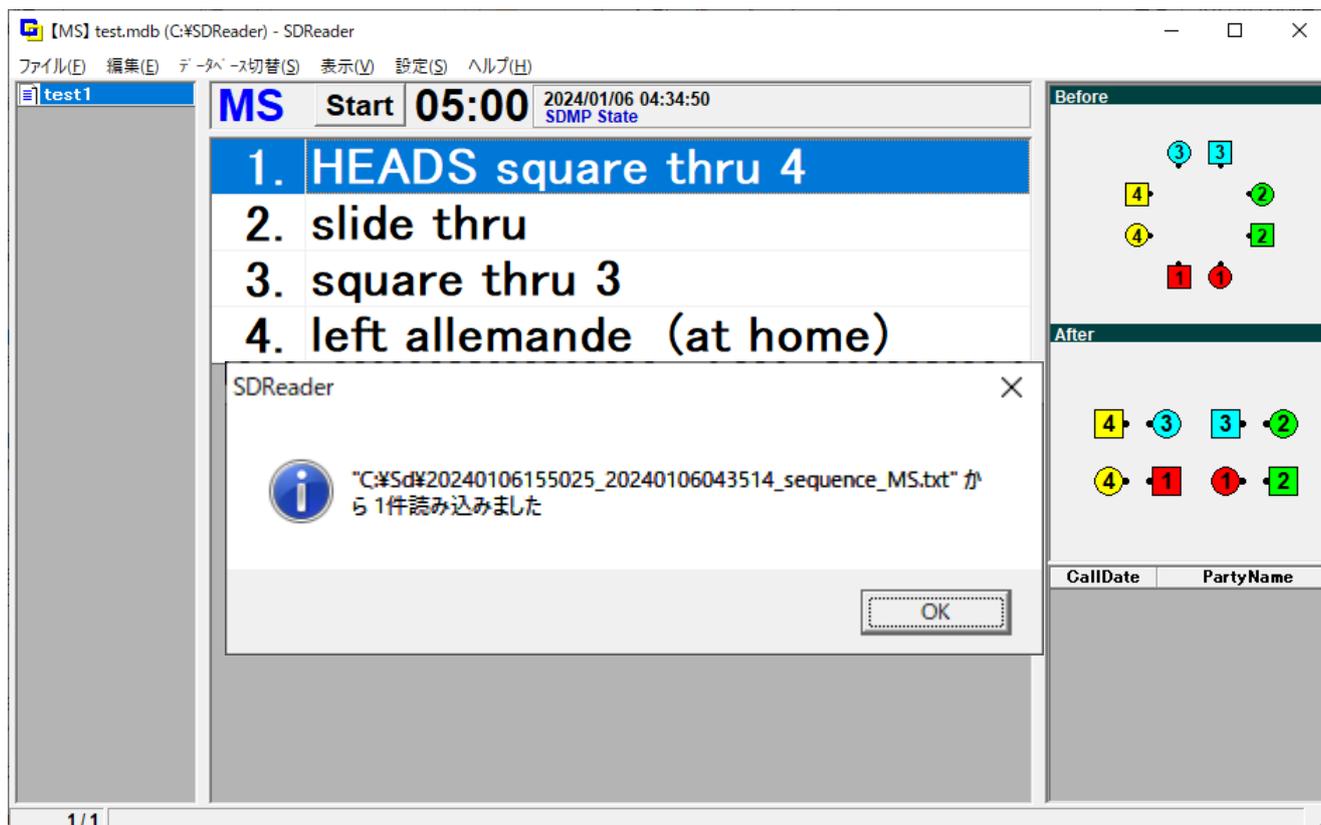
「ファイル⇒シーケンステキストを読み込(R)」でファイル指定ウィンドウを表示する。



表示されたウィンドウで、SDCouple のフォルダ (C:\SD) の内容を表示し、更新日時の新しい順に並び替えると、作成されてシーケンスファイルが先頭に来るので選択して「開く(O)」ボタンで取り込む。



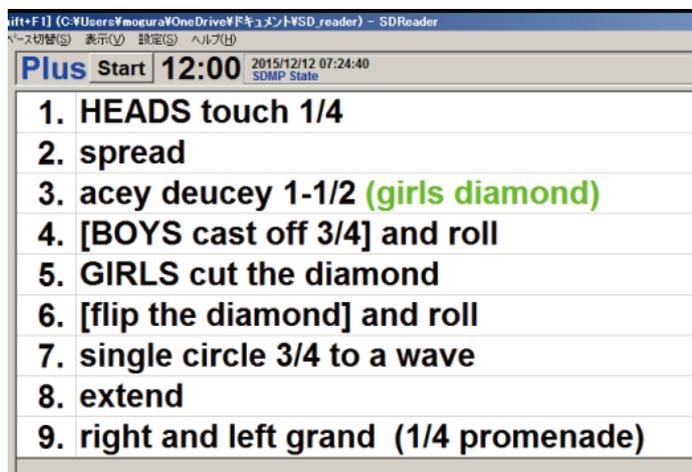
読み込みが実行されると下図のように取り込み元のファイル名と件数が表示されますので、「OK」ボタンを押して読み込みを完了させます。



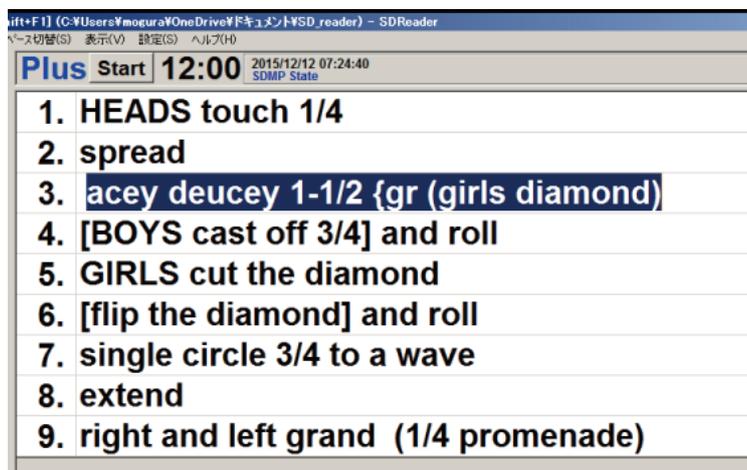
読み込まれたシーケンスファイルは C:\\$SD 内の「backup」フォルダに、ファイル名の先頭に backup が追加されたファイル名に変更されて保管されます。

これにより、同じファイルを何回も読み込むことは無くなります。

SD から取り込んだ時にコールし難い部分を編集します。編集の例としては「BOYS circulate, WHILE THE OTHERS trade」を「BOYS circulate, GIRLS trade」にしたり、「spin the top (tidal wave)」「bend the line (all partner)」等()部分を緑色で追加したりします。



コールの編集は編集したいコール行で「Enter」を押して編集モードにして、カーソル移動キーで修正したい位置に移動して入力します。修正後は「Enter」で確定しますが、Esc キーで修正をキャンセルすることもできます。

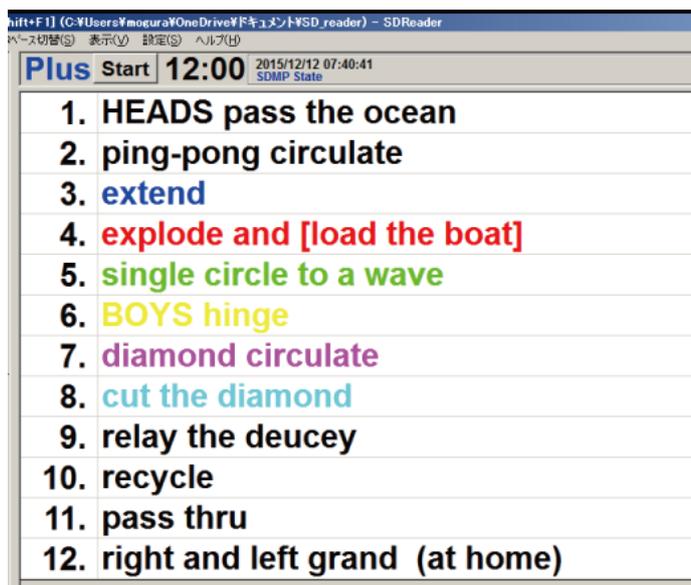


部分書式では太字やイタリック等も指定可能ですが、色の指定が見やすいと感じています。部分書式の形式は

## [[識別文字][表示する文字]]

となります。行末まで色を変更する場合は最後の "}"は省略できます。

識別子で色を指定する場合は黒=bk, 白=wh, 赤=rd, 青=bl, 緑=gr, 黄=yl, 紫=mg, 水色=cy で指定できますが見易いのは青、赤、緑、紫、水色です。



作成したコレオを活用するために、文字を追加したり、色を変更して読みやすくするとコールの読み飛ばしや読み間違いを少なくするために活用してください。